

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成28年9月8日(2016.9.8)

【公開番号】特開2015-230157(P2015-230157A)

【公開日】平成27年12月21日(2015.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2015-080

【出願番号】特願2014-118074(P2014-118074)

【国際特許分類】

F 24 F 1/22 (2011.01)

F 24 F 1/38 (2011.01)

【F I】

F 24 F 1/22

F 24 F 1/38

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月25日(2016.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明における空気調和機の室外機は、背面が開口され、前面に吹出口を有する筐体と、筐体の背面の開口を当該筐体の内側から覆う熱交換器と、中央部に送風機が固定され、送風機よりも上側に熱交換器の上端部が嵌め込まれる下向きの溝を有する係止部が設けられ、送風機よりも下側が筐体の底板に固定されるファンモーター支持部材と、下向きの溝が設けられたサイズ調節部とを備え、サイズ調節部は、熱交換器の高さと厚みに合わせて、ファンモーター支持部材の係止部の溝内に嵌め込まれ、当該サイズ調節部の溝内に熱交換器の上端部が嵌め込まれる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

1 前面板、1a 吹出口、1b ファンガード、2 側面板、3 天板、4 底板、
 4a 絞り部、4b バーリング形状部、5 サービスカバー、6 バルブカバー、7
 脚部、8 セパレーター、9 送風機室、10 機械室、11 热交換器、12 送風機
 、12a ファンモーター、12b プロペラファン、14 圧縮機、20 ファンモー
 ター支持部材、21 支柱部、22 保持部、23 支柱固定部、24 天板支持部、2
 5 係止支持部、25a 支持板、26 逆U字形係止板(係止部)、26a 一方の側
 面、26b 切り起こし片、26c 段差部、26d 溝、27 ネジ、30 サイズ調
 節部、30a 前面、30b 背面、31 溝、32 U字形規制片、32a 側片、3
 3 爪部、34 突起片、40 緩衝材、50 室外機、51 筐体。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

背面が開口され、前面に吹出口を有する筐体と、
前記筐体の背面の開口を当該筐体の内側から覆う熱交換器と、
中央部に送風機が固定され、前記送風機よりも上側に前記熱交換器の上端部が嵌め込まれる下向きの溝を有する係止部が設けられ、前記送風機よりも下側が前記筐体の底板に固定されるファンモーター支持部材と、
下向きの溝が設けられたサイズ調節部と
を備え、

前記サイズ調節部は、前記熱交換器の高さと厚みに合わせて、前記ファンモーター支持部材の係止部の溝内に嵌め込まれ、当該サイズ調節部の溝内に前記熱交換器の上端部が嵌め込まれることを特徴とする空気調和機の室外機。

【請求項 2】

前記係止部の溝を形成する一方の側面に、当該側面の一部の切り起こしにより形成される平らな段差部が設けられ、

前記サイズ調節部の前記段差部側の面に、当該サイズ調節部が前記係止部の溝内に嵌め込まれた際に、前記段差部に係止する爪部が設けられていることを特徴とする請求項1記載の空気調和機の室外機。

【請求項 3】

前記サイズ調節部の前記段差部側の面の反対側の面に設けられ、前記サイズ調節部が前記係止部の溝内に嵌め込まれた際に、当該サイズ調節部の左右方向の動きを規制する規制片を備えたことを特徴とする請求項2記載の空気調和機の室外機。

【請求項 4】

前記サイズ調節部の溝内に振動を吸収する緩衝材が嵌め込まれることを特徴とする請求項1～3の何れか1項に記載の空気調和機の室外機。